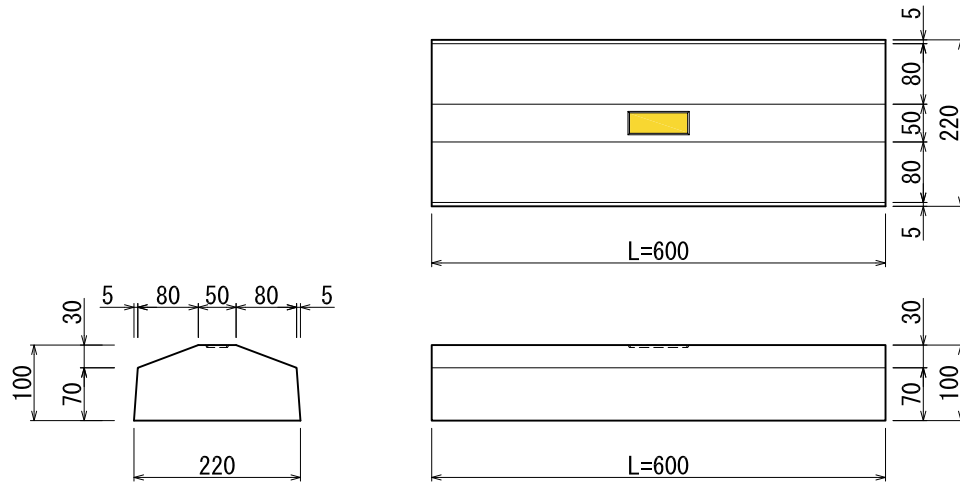


注意喚起型水止めブロック AWS30-L600 形状図

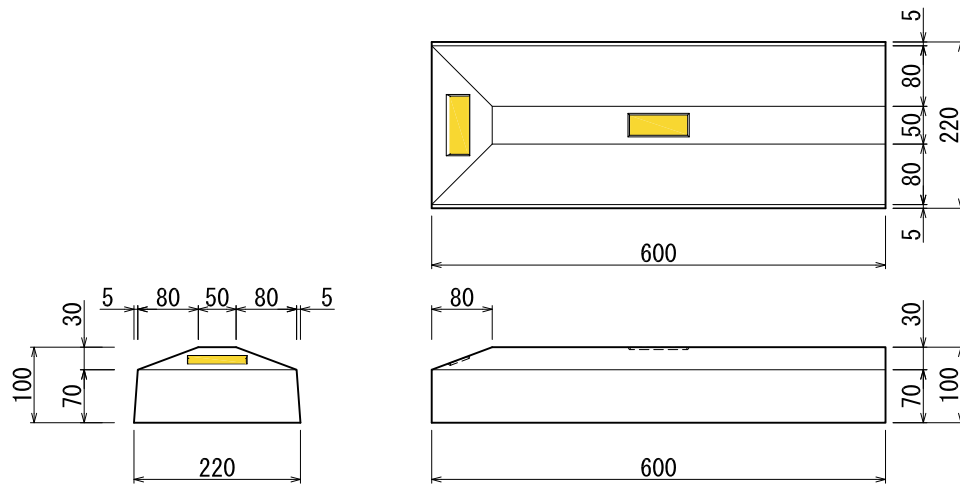
S=1:10 (A4版)

AWS30基本-L600



参考重量 27kg/本

AWS30端末-L600



参考重量 26kg/本

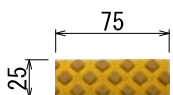
設置イメージ(反射材無し)



設置イメージ(反射材有り)



反射材 S=1:5



※反射材は付属品となります。

※反射材の貼付け場所はコンクリート面が窪んでいる部分です。

※反射材は両面テープになっていますので、貼付面の掃除後、貼り付けをお願いします。

≪ AWS30(水止めブロック)反射材の貼り付け方 ≫

貼り付け位置の確認(基本)



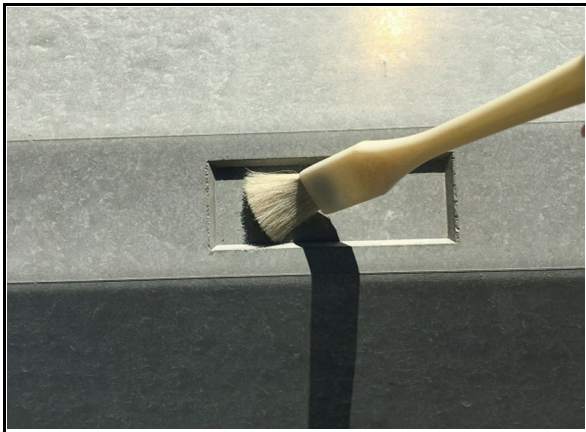
中央の窪みに反射材を貼り付けます。
反射材の最低貼付温度は5℃となっております。
気温が5℃以上の時に作業を行ってください。
表面が乾燥した状態で作業を行ってください。

貼り付け位置の確認(端末)



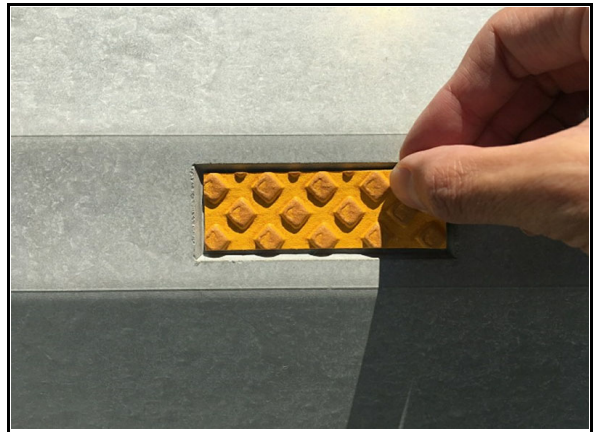
端末の場合、中央だけでなく端部の窪みにも
反射材の貼り付けスペースがあります。
反射材の大きさは75mm×25mmで、基本と端末
は同じ大きさです。

貼り付け部分の掃除



窪みに溜まった砂やほこりを掃き出し、
表面の汚れをよく落としてください。

位置合わせ・貼り付け



反射材から白い剥離紙を剥がし、窪みの底の
平らな面に貼り付けます。
窪みから反射材がはみ出さないよう、反射材
の位置にご注意ください。

反射材の圧着



上から強く押さえ、しっかり圧着して下さい。

貼り付け完了



作業完了。
正しく接着された反射材は強力な接着力を発揮
しますが、より強固に接着する場合は状況に応じ
て接着剤の使用をご検討ください。